

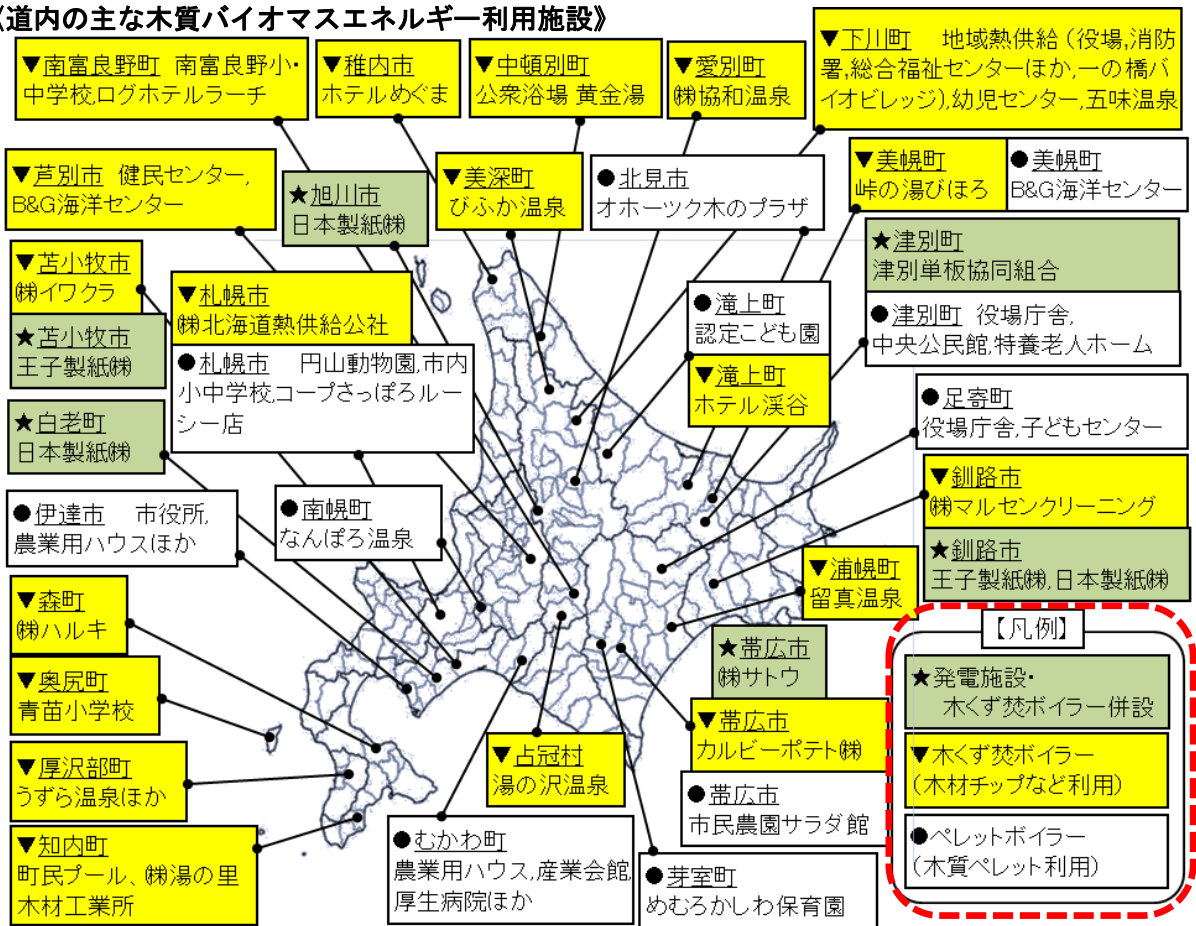
# 行政の窓

## 北海道の木質バイオマスエネルギーの利用状況

### 《北海道の木質バイオマスエネルギー安定供給促進の取組》

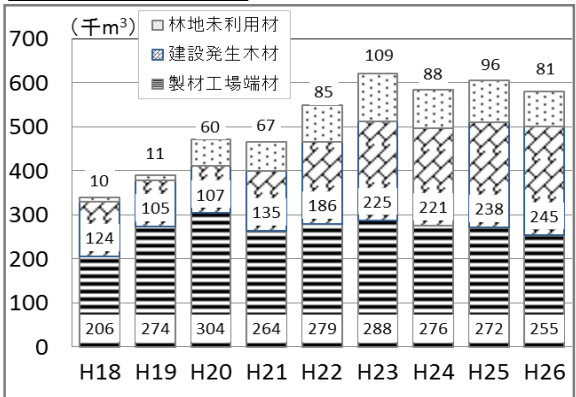
森林整備に伴い発生した林地未利用材や製材工場の端材などを木質バイオマスエネルギーとして有効に活用することは、森林整備の推進につながるとともに、地球温暖化の防止にも貢献する重要な取組です。道では、これまで木質バイオマス関連施設の整備や木質バイオマスの安定供給体制づくりなどに支援を行ってきました。今後、再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく大規模発電施設の稼働により木質バイオマス需要の増加が見込まれており、化石燃料に替わるエネルギーとして木質バイオマスの安定供給促進に対する取組を支援していきます。

### 《道内の主な木質バイオマスエネルギー利用施設》



**木質バイオマスエネルギーの利用施設の現況 (平成26年度)**

発電施設：25基  
 木くず焚ボイラー：119基  
 ペレットボイラー：120基  
 ペレットストーブ：2,739台  
 (木くず焚ボイラー数には、発電施設利用のためのボイラーを含む)



《木質バイオマスエネルギー利用量の推移》

(水産林務部 林務局林業木材課 需要推進グループ)